

令和六年十二月号

《第一四四号》

しるへび

宗教法人岩國白蛇神社

〒740-0017

今津町六丁目4-2

☎ 30-3333

### 師走の祭典・行事案内

【月次祭】 九時半

七日(土)

三十一日(火)

【大掃除】 八時半

一日(日)

【十三年祭】

十六日(月)

# 12月

※ご案内を差し上げた方のみの参列

三笠宮百合子妃殿下の御薨去に際し、謹んで哀悼の意を表します。

先月十五日朝、三笠宮妃殿下におかせられては、百一歳の生涯を閉じられました。昭和十六年三笠宮殿下に嫁がれ、五人の御子様を育てられました。母子保健の向上や日本赤十字社名誉副総裁としても御活躍されました。御皇室は十六名の御方々となりました。

【昭和天皇御製】(第一二四代)

海の外とむつみふかめて我が国の  
ふみのはやしを茂らしめなむ

(昭和二十三年)

### 【巳年を迎えるにあたり】

平成二十四年十二月十六日(辰年)に当神社は創建されました。この日を例祭の日として総代・崇敬者の方々の参列をいただき、毎年祭典を斎行してきました。

今年の十二月十六日で十二周年となり、十三年目を迎える十三年祭を挙行することとなり、御祭神に感謝すると共に地域の方々を始め、当神社を支えていただいた多くの方々に深く感謝を申し上げる次第です。

御鎮座祭を経ての最初正月(巳年)は三日でおおよそ二万人の初詣がありました。その時も麻里布小学校運動場を駐車場としてお借りしましたが、それでも周辺の道路は大変な渋滞となりました。この来る正月もおそらく各地より数多の初詣が予想されます。

新年を幸多かれと祈念する方々には気分よくよい印象をもっていただきたいのは勿論のこと、迎える神社周辺の地域の方も歓迎の心持ちでいただきたく切に思っております。より良き新年をお迎えさせよう。

### 【歳旦祭】 一月一日 午前七時

例年の歳旦祭は九時半より行つておりましたが、来年の祭典は早朝七時より斎行することとしました。多くの方々の早朝の初詣に対応するためです。尚、どなたでも自由に参列できますのでご遠慮なく拝殿にお上がりください。御祈願の受付は九時から行ひます。予約もできますので、ご連絡くださいませ。

### 【推薦図書】

### 『戦うことは「悪」ですか』

サムライが消えた武士道の国で、いま私たちがなすべきこと  
扶桑社新書

葛城奈海 著 九五〇円+税

『私自身のこの三年半でのもつとも大きな収穫は、「宣戦の詔書」と出合ったことです。昭和天皇がここまで「戦う理由」を明言されていたのかと驚きを禁じ得ませんでした。そこには、「東亜の安定を確保し、世界平和に寄与し、万国が共に栄える喜びを共にしたいにもかかわらず、米英は、東亜の混乱を助長し、平和の美名に隠れて東洋を征服する非道な野望をたくましくしている。事ここに至っては、自存自衛のため、速やかに禍根を取り除いて東亜の永遠の平和を確立し、日本の保全を期す」旨が記されていたのです。これを読めば、「侵略戦争」でなかったことは明らかです。』  
(新書版 おわりに)より

### 戦うことは「悪」ですか

サムライが消えた武士道の国で、いま私たちがなすべきこと

葛城奈海  
Nami Katsuragi

戦わずして敗れ、大切なものを失う……  
そんな体たらくに耐えられますか

肉親を拉致され、領土を侵され、古くからの文化を否定され、父兄を侮辱されても、あなたは平気ですか？  
戦わないのですか？我が国は敗戦以来、戦うことを「悪」としてきましたが、戦わずして速戦速敗ではないでしょうか？  
このままでは「旭日」が愛される……  
「戦後教育の申し子」だった著者が問う、我が国の現実とは？



扶桑社新書 515

定価：本体850円+税

氣ままに『古事記』中巻 (六十三)

神武天皇(神倭伊波礼毘古命)

田芸志美美命の反逆

神武天皇が崩御された後、三兄弟の母違ひの兄である田芸志美美命が伊須気余理比売を妻としました。そして、三兄弟を殺そうと計画をしてゐることを知った伊須気余理比売はつらく苦しい思ひを歌によつて三兄弟の息子たちに知らせました。その歌は、

狭井川よ 雲立ちわたり 畝火山 木の葉さやぎぬ 風吹かむとす

また別の歌には、

畝火山 昼は雲とゐ 夕されば 風吹かむとぞ 木の葉さやげる

三兄弟はこれを聞き驚き、田芸志美美命を殺そうとされました。そのとき、神沼河耳命がその兄の神八井耳命に「兄上よ、あなたが武器を持つて入り、田芸志美美を殺しなさい」と申しました。それで、武器を持つて入り殺そうとしたが、手足が震へて殺すことができなかつた。そこでその弟は、兄の持つてゐた武器をもらひ受け、入つていき、

田芸志美美を殺しておしまいになりました。それでまた名を称えて、建沼河耳命とも呼ぶやうになりました。かうして神八井耳命は、弟の建沼河耳命に皇位を譲つて申すには、「私は敵を殺すことができなかつた。あなたは完全に敵を殺すことができましたので、私は兄であるけれども、上に立つべきではないと、あなたが天皇となり、天下を治めなさい。私はあなたを助けて、祭事を司る者となつてお仕へしませう」と申しました。(略) 神沼河耳命は天下をお治めになりました。

父である神倭伊波礼毘古命(神武天皇)は、

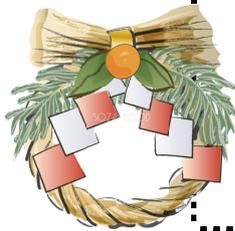
百三十七歳で崩御されました。御陵は畝火山の北の方、白檮の尾根にあります。(続く)



年末年始のおいせ

十二月一日(日)八時半より  
大掃除を保存会会員と神社総代の方々が行ひます。境内地の除草や拝殿回廊の拭き掃除などです。防寒対策等よろしくお願ひいたします。

昨年までの御札・お守りのお焚き上げの受付は一月十一日(土)までとします。お飾りのダイダイヤや金属等を取り外して、社務所に直接ご持参くださいませ。  
それ以降は、他のお焚き上げ施設のある神社へお持ちください。



鈴緒の一時撤去について  
御理解下さい。

来月中頃より新年一月の中旬(予定)頃まで、拝殿正面(賽銭箱の上)の鈴緒を取り外します。一度に多くの方にご参拝いただき、他の神社等にも初詣できるように時間短縮のためです。



十二月三十一日(火)の予定

午前九時半より月次祭  
午後三時より年越大祓祭

一月元旦から五日まで  
駐車場は麻里布小学校運動場のみとなります。約七百メートルの距離ですが御理解ください。  
事前に多くの方々にお知らせいただければ幸いです。

